

第6回 パソコン集計担当者講習会を開催！

平成24年3月31日（土）掛川市の「たまりーな」において、標記講習会が開催された。この講習会は、静岡県ソフトボール協会記録委員会が主催し、毎年行われている。今回は、新スコア集計システム「Windmill」の取扱いに関する内容ということもあり、県下各地から約30名が参加。同月11日（日）、愛知県で開催された東海パソコン研修に参加したパソコン普及担当委員が講師となり、講習は進められた。



講習では、大会の事前準備から打順表の作成、試合成績の入力、報告書の作成などについて、これまでの「Hiball」との相違点などを中心に解説された。平成24年度からの導入ということもあり、試運転的な部分も見受けられるものの、定期的なアップデートもネットで可能となった。また、エクセルで入力したものの反映や保存、「Hiball」データの読み取り、通算成績データの作成など、互換性や利便性が改善された部分も多く、感動した受講生からは「おーっ!」という声も聞かれた。



平成24年度に限り、新システムへの移行期間として、これまでの「Hiball」の使用も認められている部分はあるものの、裾野市と本講習会の会場となった掛川市において予定されている日本リーグでは「Windmill」の使用が義務付けられており、実質的には待ったなしの状態に置かれている。小黒喜夫県ソフトボール記録副委員長は、「最初は入力に戸惑うこともあると思うが、回数と場数を踏んで新しいシステムに慣れていただきたい。東海の研修は夏あたりにも予定されているので、システムの改良とともに実際に操作する皆さんのレベルアップを期待したい。」と話し、パソコン集計担当者の底辺拡大とともに受講生の奮起を促した。